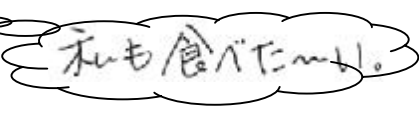
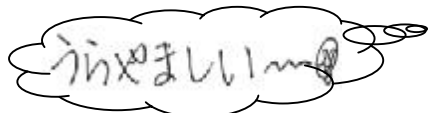




わくわく だより

毎年、夏が近くになると、ダイエットしようと決意する方が増えますよね。最近、つくづく思うとは、今の洋服のサイズが昔より小さくは、た...洋服を購入する時、必ず実際の体型より、小さくサイズから試着しますよね？ 私服だけ...？ Tシャツはなんか自分では、ちょっと太めでサイズと思って試着すると、これ、子供のTシャツ？ と思ってしまうほど小さい!! はんで？ ほんまに今の日本人は、スリムなの？ 私が着るとボンレスハムにほてしまう。悲しいけど、これが現実!! 今年からは、ぜひ痩せるね〜



ひとこと

窓の種類について

その1

窓には、さまざまな種類があります。その一部をご紹介します。

- 腰高窓・・・大人が立った時の腰の高さ(80~90 cm)が下端になっている窓。バルコニーの付いていない壁面に設置される。
- 掃き出し窓(地窓)・・・床面近くから始まる大型の窓。
- 押し出し窓(くり出し窓)・・・窓の下部を押して開ける窓。小スペースに用いられることが多い(浴室・トイレ等)。
- ジャロジーk・・・細長いガラス板を横に並べ、その角度を変えることで通風を調整できる小窓のこと。
- 出窓・・・建物の外に突き出たような形の窓。外に突き出ている分、室内に広がりを出す効果がある。
- ベイウインドウ・・・台形に張り出した出窓のこと。
- ボウウインドウ・・・弓形に張り出した出窓のこと。

絶対に持ち家にすべき

私たちが生活する基本となるものに「衣・食・住」という言葉があります。

現在の生活の中で、「衣類と食事」を人から「借りる」ことはないと思います。ところが、「住まい」については、いまだに

家を借りている人が多いのはどうしてでしょうか。「衣」と「食」は、このご時勢、切り詰めればどうにでもなりますが、一番大切な「住」を賃貸で借りるなんて・・・という言葉が聞こえてきます。

なぜ中古住宅・中古マンション

新築マンションが安い価格で販売されるので、ついそちらの方に目が行ってしまいますが、新築マンションには次のような落とし穴もあることに注意してください。新築住宅の場合にも同様の注意が必要です。

- ①モデルルームだけで、実際の間取りをみる事ができない。
- ②日当たり、眺望が、物件が出来上がって入居したときにしか見えない。
- ③近隣にどんな人が入居してくるのか、戦々恐々とするものがある。
- ④コンクリートの湿気が完全にとれるまでに3年間くらいかかる。神経痛、喘息の人には不向き。高齢者は神経痛、小児は喘息になる恐れすらある。
- ⑤夫婦共働きの家では、昼間の外部との換気が殆どなされないため、ますます室内に体に悪い物質が淀む恐れがある。
- ⑥マンション業者の中には、不良債権を抱えたままの業者も多く安心できない。もし、不良債権の処理に該当する会社と

契約したら、万一の場合あとの責任は誰もとってくれない。

これに対し、中古物件の場合には、次のようなメリットが考えられます。

- ①バブル期のマンションは高かったが、サッシなど、すべてにブランド製品が使われており、高品質である(安価な外国製品を使っている例も多い)。
- ②専有部分のリフォームは問題ないが、共有部分についても工法が進んでおり、マンション管理の法律も整備されてきており、中古マンションの寿命がさらに長くなったことになる。
- ③余談ですが、パイプ煙草の愛煙家は、高価なパイプを部下などに5年間くらい喫煙させて、ポットにやにがついて快適な風味になったとき、吸い口だけを新しく付け替えて使うといいます。中古マンションは何かこれに似た感じがしますね。